

今回は伝記絵本です。

『トマス・ジェファソン 本を愛し、集めた人』
バーブ・ローゼンストック／文 ジョン・オブライエン／絵 渋谷 弘子／訳
さ・え・ら書房 2014年 1512円
<お勧め年齢>
乳幼児——— 低学年——— 中学年——— 高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆
高 校☆☆☆ 一 般☆☆☆

(☆が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

トマス・ジェファソン。彼はアメリカ独立宣言を書き、第3代アメリカ大統領を務めた人物です。が、この絵本に描かれているのは、彼のアメリカ独立への多大な貢献ではなく、彼がどんなに本を愛していたかということ。

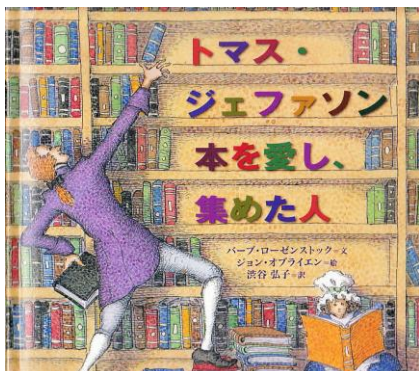
トマスは生涯に約12000冊の蔵書を集めました。この当時本を1冊持っているだけでも大変贅沢だったというのに、です。どんな内容の本でも、どんな言語の本でも(もちろん彼の知らない言語でも)彼は1冊1冊本を手にとって買いました。そして、読みました。もちろん、この本から得た知識でトマスが多大な功績を残せたことは想像に難くありませんが、この絵本を読むと、彼はそんなことよりも、ただ、ただ、本が好きだったのだということを感じずにはられません。

トマスの最初の蔵書(300冊~400冊)が家事で焼失したときの彼の言葉。

「ああ、これがお金だったら、こんなに悲しまずにすんだものを」

<子どもに手渡す時のポイント>

この本は絵本ですが、文章や内容は小学校高学年から大人までが対象になると思います。しっかりした伝記を読むのも書かれている人物を深く知ることができて面白いですが、コンパクトにまとめられた伝記絵本は(よい作りになっていることが前提ですが)、書かれている人物の人生のエッセンスがつまっているのも、また違った面白さを楽しめます。長い文書は苦手という子や、伝記にハードルを感じている子にもぜひ手渡してあげてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村さやか